

京都スポーツの今



vol.2

京都府チーム後援会 会員を募集しています！

京都府チーム後援会は、チームを物心両面から応援するために平成2年に発足しました。今や、京都の冬の風物詩となった全国女子駅伝。京都府チームは地元が誇る強豪チームに成長しました。後援会では、随時、会員を募集しております。あなたも一緒にチームを応援しませんか？ご入会お待ちしております。



大会当日は後援会お揃いのジャンパーと手旗で沿道から応援します

【組織概要】

会長：田中田鶴子
(京都商工会議所名誉議員、(学)大和学園名誉学園長)
事務局：京都商工会議所 産業振興部内
会員数：約300の個人・団体・法人

【主な活動】

- ・大会直前に激励懇親会を開催し、選手・監督・コーチを激励
- ・京都府チームに選手強化費を贈呈
- ・大会当日に沿道にて応援
- ・京都府チームが優勝した場合、選手・監督・コーチをご招待し、優勝祝賀会を開催
- ・京都府チームの監督・選手の手記なども掲載した会報誌「魁」の発行

会員区分		会費年額
正会員	法人・団体	50,000円/1口
	個人	10,000円/1口
賛助会員	法人・団体	20,000円/1口
	個人	5,000円/1口

※入会金はありません。

【問合せ先】

京都府チーム後援会事務局(京都商工会議所 産業振興部内)
TEL:075-212-6443 FAX:075-255-0428
〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル



第29回大会(H23.1.16開催)では史上最多14回目の優勝に輝き、皇后盃を手に入れました。

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 京都府チーム

はやかりみのり
早狩実紀監督

2005年の世界選手権ヘルシンキ大会において、世界大会で初実施種目となる女子3000m障害の日本代表選手として出場し、アジア記録(当時)及び日本記録を樹立。その後、日本女子3000m障害の第一人者として、2008年北京オリンピック出場ほか国内外の大会で活躍。自身の選手活動を続けながら、2011年の全国都道府県対抗女子駅伝第29回大会より京都府チームの監督に就任。過去の同大会では、京都府チームから選手としても多数出場。1972年11月29日生まれ。京都市出身。

自分らしい監督像を求めて

冬の都大路といえ「駅伝」。毎年1月に行われる「全国都道府県対抗女子駅伝」は、全国の女子長距離選手にとってあこがれの大会です。過去30回の歴史の中で14回の優勝を誇る京都府チームは、オリンピック等で日本代表を数多く輩出する強豪チームとして、レベルの高さを維持し続けています。

経験の継承

で、選手の中に溶け込むことができる。チームの結束力が日ごとに高まっていくのを感じました。

私は、その京都府チームの監督を務めて今年で3回目となります。現役選手の監督は、全国でも京都府チームだけです。2年前、初めて監督就任の打診を受けたとき、私は即座にお断りしました。「わたしには無理です!」と。指導経験ゼロ、この強いチームを率いるだけの指導力は持ち合わせておらず、あまりにも荷が重すぎると感じたからです。

監督を引き受けてからも苦痛の連続でした。選手選考や合宿生活では、監督と選手の立場の違いに戸惑うばかり。しかし、そんな時に私を支えてくれたのは、選手達でした。監督でありながら、やはり心は一選手。選手達もそのように私を見ていたと思います。選手と一緒にいるうちに私は選手であっていいんだ、と気付きました。それが私にしか出せない良さなのかもしれません。コーチとスタッフが全面的にサポートして下さったおかげ

常に考えているのは、いま私にできることはなんだろう、ということ。選手として出場した中学時代から全国優勝を何度も経験し、京都府チームの強さを身を以て体験してきました。日本一を目標にする意識の高さを自然と身につけることができたのは、女子駅伝での経験があったからです。監督、コーチや先輩選手から受けた影響がいかに大きかったかを、監督になってより感じるようになりました。

代表選手たちは春と夏に強化合宿を行ない、年末からは本番に向けての最終合宿に入ります。来年の1月13日、地元の皆さんの応援を背に、都大路を力いっぱい駆け抜けたと思います。